

数寄屋の美学と、小川治兵衛の枯山水の庭園。京都の近代の美学を感じる料亭
新たな京都の隠れ家

京都ホテルオークラ 別邸

京料理 栗田山荘

「京都ホテルオークラ 別邸 京料理 栗田山荘」として 2009 年 4 月 1 日、新たなスタートを迎えました

＜連結子会社吸収合併について＞

京都ホテルオークラ(本社:京都市中京区、(株)京都ホテル、大証2部上場、代表取締役社長 平岩孝一郎)は、栗田山荘運営を含む、100%連結子会社である京都ホテル実業株式会社を、平成21年4月1日に吸収合併するに至り、当社組織の一部門としての経営へと変更することにより、運営の効率化等の相乗効果を強化、京都において京都ホテルオークラブランドのさらなる飛躍を目指します。

京都ホテルオークラ 別邸 栗田山荘 の概要

建物) 別荘のいたるところに昭和初期の京都の町衆文化の心意気が冴える邸宅です。贅を凝らした桧材を惜しげなく使い、隅々にまで職人の美学が配された空間。世界の建築家、美術家から絶賛されるに至った日本の数寄屋の美学を、当たり前に関生活に取り込んだ京都の近代における文化の高さが香る建物です。

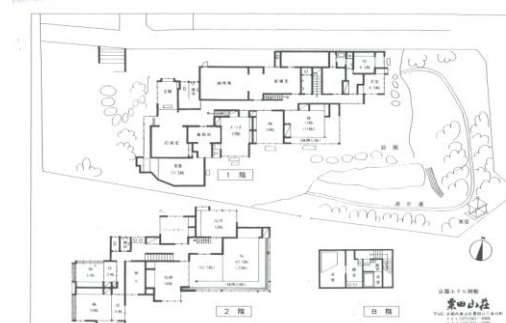


庭) 庭園「石翠」は、京都の多くの名庭を手掛けた小川治兵衛が作庭。枯山水の技法が駆使され、何トンもの鞍馬石や貴船石などが配されている。鎌倉時代の灯籠、四季を彩る植栽等が美しく際立ち、また、東屋へ向かう小路からは、樹々の向こうに平安神宮の朱の鳥居もかいま見える。地続きの青蓮院の敷地の緑などが重なり、自然が豊かな地。静寂の中に包まれます。

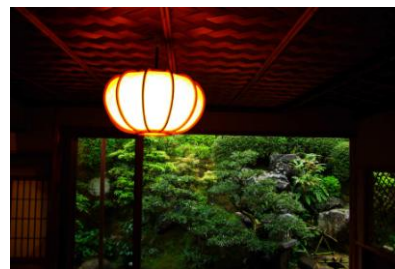


立地) 歴史ある栗田山の山裾に在り、青蓮院と地続き。420坪の敷地に建坪270坪の庭園に150坪の邸宅を擁した。

歴史) 昭和12年、西陣の織元細井邦三郎氏が建てた別荘が前身。昭和51年(1976年)、京都ホテルの和風別館として営業を開始し、平成21年4月1日、「京都ホテルオークラの別邸」として新たなスタートを迎えました。



お部屋 1階に6部屋、2階に4部屋の合計10部屋。それぞれのお部屋の窓からは、それぞれに違う自然の造形美をご覧頂けます。また、網代の天井や、凝った建具、深い軒から生まれる陰影や御簾から漏れる繊細な光には、完成された美学の結晶、数寄屋の空間の素晴らしさ、息遣いを感じて頂けます。



料理 京都の春夏秋冬を代表する旬の素材を中心に、お会席から鍋までご提供。京都ホテルオークラ 京料理「入舟」の臼井料理長がきめ細やかに監修。春は大原の筍や山菜、夏は鮎や鱧、秋は松茸、冬は鰯、甘鯛、京野菜、と四季を通じて京都の飽くことのない美食の研鑽の集積をお庭の美と共に楽しみ頂きます。



栗田山荘の周辺

栗田御所とも呼ばれる青蓮院が南側に隣接。山県有朋の別邸「無鄰庵」。三門で知られる南禅寺。南禅寺の北に紅葉の見所「永観堂」。西田幾太郎の散策路「哲学の道」の起点。また、南に進むと枝垂れ桜で有名な円山公園。その先には知恩院。いずれも栗田山荘からの散策で出かけられる、非常に歴史深い名所の数々です。東山の緑と疏水の水を近く感じながら四季折々の京情緒を満喫して頂けます。

ご夕食と京都ホテルオークラ宿泊のプラン「せいひつ静謐の膳」のご紹介

期 間：2009年5月24日(日)～2010年3月31日(水) / 除外日あり

内 容：栗田山荘でのご夕食「静謐の膳」と京都ホテルオークラでのご宿泊のセット

価 格：お一人様 32,500円～ 45,300円 (価格はお部屋のタイプ、シーズンによって変わります)

※1泊室料・栗田山荘でのご夕食・ホテルでのご朝食・タクシー送迎付き / 税サ込み

ご予約・お問い合わせ：宿泊予約センター TEL.075-223-2333(9:00～21:00)

栗田山荘 データ

店 名：京都ホテルオークラ別邸 京料理 栗田山荘

所在地：京都市東山区栗田口三条坊町 2-15

電 話：075-561-4908 (fax 075-531-0788)

営業時間：11:30～14:30 / 17:30～21:00

定休日：なし

ご昼食：7,350円(税サ込み)～

ご夕食：15,120円(税サ込み)～

お部屋：1階6部屋・2階4部屋 計10部屋

(2名様から45名様まで) テーブル・椅子可能



★本件に関するお問い合わせは

京都ホテルオークラ 営業企画部 企画開発課 広報担当 坂田

京都市中京区河原町御池 Tel 075-254-2524(直通)

e-mail sakata@kyotohotel.co.jp <http://www.kyotohotel.co.jp/>